

長野市道路付属物長寿命化修繕計画



令和6年4月

長野市建設部維持課

表紙の写真 沢尻スノーシェッド（長野市入山）

目 次

- 1 長寿命化修繕計画の背景と目的
- 2 計画期間
- 3 長寿命化修繕計画の対象となる道路付属物
- 4 計画の基本方針
- 5 道路付属物点検の基本方針
- 6 道路付属物長寿命化に関する基本方針
- 7 対策に係る概算工事費

1 長寿命化修繕計画の背景と目的

1.1 背景

長野市が管理する道路付属物は、令和6年4月現在で横断歩道橋10橋、大型カルバート9橋、シェッド5箇所、門型標識14基、自動昇降機26基（エレベーター14基、エスカレーター12基）、トンネル1箇所です。（以下、道路付属物とは、横断歩道橋、大型カルバート、シェッド、門型標識、エレベーター、エスカレーター、トンネルを指します。）

このうち、20年後に架設から50年以上経過する施設は、以下の表のとおりであり、老朽化等による破損が顕著となり、安全で快適な道路付属物の確保が難しくなります。また修繕費用や作り替え費用も急増することが想定されます。

道路付属物名	施設数	建設年次 判明施設数	2023年現在、 建設50年経過施設数	20年後（2041年）、 建設50年経過施設数 （建設年次不明含む）
横断歩道橋	10	8	1	3
大型カルバート	9	9	0	1
シェッド	5	5	1	4
門型標識	14	1	0	13
自動昇降機	26	26	0	0
トンネル	1	1	0	1

1.2 目的

道路付属物長寿命化修繕計画の策定は、今後、老朽化する道路構造物の増加に対応するため、従来の対症療法的な修繕および作り替えから、予防保全的な修繕および計画的な作り替えに改めることで、道路付属物の長寿命化と修繕・作り替え等に要する費用の縮減と平準化することを目的とするものです。

2 計画期間

計画期間は令和6年度から令和10年度の5ヶ年とします。

3 長寿命化修繕計画の対象となる道路付属物

長野市が管理する道路付属物は以下のとおりです。

○横断歩道橋

番号	施設名	路線名	所在地
1	七瀬中町横断歩道橋	東通り線	長野市大字鶴賀
2	南部小学校前横断歩道橋	東通り線	長野市大字鶴賀
3	長野駅前横断歩道橋	長野西 214 号線	長野市南長野末広町
4	長野駅東口横断歩道橋	七瀬北中線	長野市大字栗田
5	芹田小学校前横断歩道橋	東通り線	長野市大字栗田
6	三輪交番前横断歩道橋	上松吉田線	長野市三輪九丁目
7	吉田四丁目横断歩道橋	長野東 157 号線	長野市吉田四丁目
8	今井新引横断歩道橋	川中島 331 号線	長野市川中島町今井
9	芹田小学校西横断歩道橋	長野西 787 号線	長野市大字栗田
10	長野駅東口横断歩道橋	長野西 780 号線	長野市大字栗田

○大型カルバート

番号	地先名または通称名	路線名	所在地
1	小市横断地下道	安茂里 375 号線	長野市安茂里小市一丁目
2	四ツ屋横断地下道	川中島 2 号線	長野市川中島町四ツ屋
3	北原今井線横断地下道	北原今井線	長野市川中島町今井原
4	辰巳隧道	吉田朝陽線	長野市吉田三丁目
5	山王栗田横断地下道	長野西 782 号線	長野市大字鶴賀南千歳町
6	駅南幹線横断地下道	長野西 608 号線	長野市中御所一丁目
7	稲田エノキ隧道	長野東 157 号線	長野市稲田三丁目
8	原町隧道	長野東 157 号線	長野市吉田四丁目
9	北部幹線隧道	古里 344 号線	長野市大字金箱

○シェッド

番号	施設名	路線名	所在地
1	七曲りスノーシェッド	大座法師池西高線	長野市富田
2	荻久保スノーシェッド	荻久保線	長野市荻久保
3	沢尻スノーシェッド	裾花大橋曲戸線	長野市入山
4	日名ロックシェッド	日名置原線	長野市信州新町日原西置原
5	灰原スノーシェッド	下灰原仙石線	長野市信更町灰原下灰原

○門型標識

番号	施設名	路線名	所在地
1	南屋島横断地下道起点	朝陽 373 号線	長野市大字屋島
2	南屋島横断地下道終点	朝陽 373 号線	長野市大字屋島
3	築地横断地下道起点	篠ノ井北 247 号線	長野市篠ノ井岡田
4	築地横断地下道終点	篠ノ井北 247 号線	長野市篠ノ井岡田
5	五明横断地下道起点	篠ノ井中 170 号線	長野市篠ノ井布施高田
6	五明横断地下道終点	篠ノ井中 170 号線	長野市篠ノ井布施高田
7	大当横断地下道起点	篠ノ井南 64 号線	長野市みこと川
8	大当横断地下道終点	篠ノ井南 64 号線	長野市みこと川
9	杵淵横断地下道起点	新田上庭線	長野市篠ノ井杵淵
10	杵淵横断地下道終点	新田上庭線	長野市篠ノ井杵淵
11	川合西横断地下道起点	更北 586 号線	長野市真島町川合
12	川合西横断地下道終点	更北 586 号線	長野市真島町川合
13	七曲りスノーシェッド起点	大座法師池西高線	長野市大字富田
14	七曲りスノーシェッド終点	大座法師池西高線	長野市大字西長野

○自動昇降機（エレベーター）

番号	地先名または通称名	路線名	所在地
1	長野駅善光寺口駅前広場		長野市南千歳一丁目
2	長野駅東西自由通路善光寺口		長野市大字南長野末広町
3	長野駅東西自由通路中央部		長野市大字栗田
4	長野駅東口駅前広場（1号機）		長野市大字栗田
5	長野駅東口駅前広場（3号機）		長野市大字栗田
6	長野駅東口交差点歩道橋（1号機）		長野市大字栗田
7	長野駅東口交差点歩道橋（2号機）		長野市大字栗田
8	JR篠ノ井駅東西自由通路（東口）		長野市篠ノ井布施高田
9	JR篠ノ井駅東西自由通路（西口）		長野市篠ノ井布施高田
10	信濃吉田駅南北自由通路（南口）		長野市吉田三丁目
11	信濃吉田駅南北自由通路（北口）		長野市吉田三丁目
12	豊野駅南北自由通路（北口）		長野市豊野町豊野
13	豊野駅南北自由通路（南口）		長野市豊野町豊野
14	北部幹線横断地下道		長野市大字金箱

○自動昇降機（エスカレーター）

番号	地先名または通称名	路線名	所在地
1	長野駅善光寺口駅前広場（1号機）		長野市大字南長野末広町
2	長野駅善光寺口駅前広場（2号機）		長野市大字南長野末広町
3	長野駅東西自由通路善光寺口（1号機）		長野市大字南長野末広町
4	長野駅東西自由通路善光寺口（2号機）		長野市大字南長野末広町
5	長野駅東西自由通路善光寺口（3号機）		長野市大字南長野末広町
6	長野駅東西自由通路善光寺口（4号機）		長野市大字南長野末広町
7	長野駅東西自由通路中央部（1号機）		長野市大字栗田
8	長野駅東西自由通路中央部（2号機）		長野市大字栗田
9	長野駅東口駅前広場（1号機）		長野市大字栗田
10	長野駅東口駅前広場（2号機）		長野市大字栗田
11	長野駅東口駅前広場（3号機）		長野市大字栗田
12	長野駅東口駅前広場（4号機）		長野市大字栗田

○トンネル

番号	地先名または通称名	路線名	所在地
1	花上トンネル	飯森新橋線	長野市大字塩生甲

位置図

○横断歩道橋



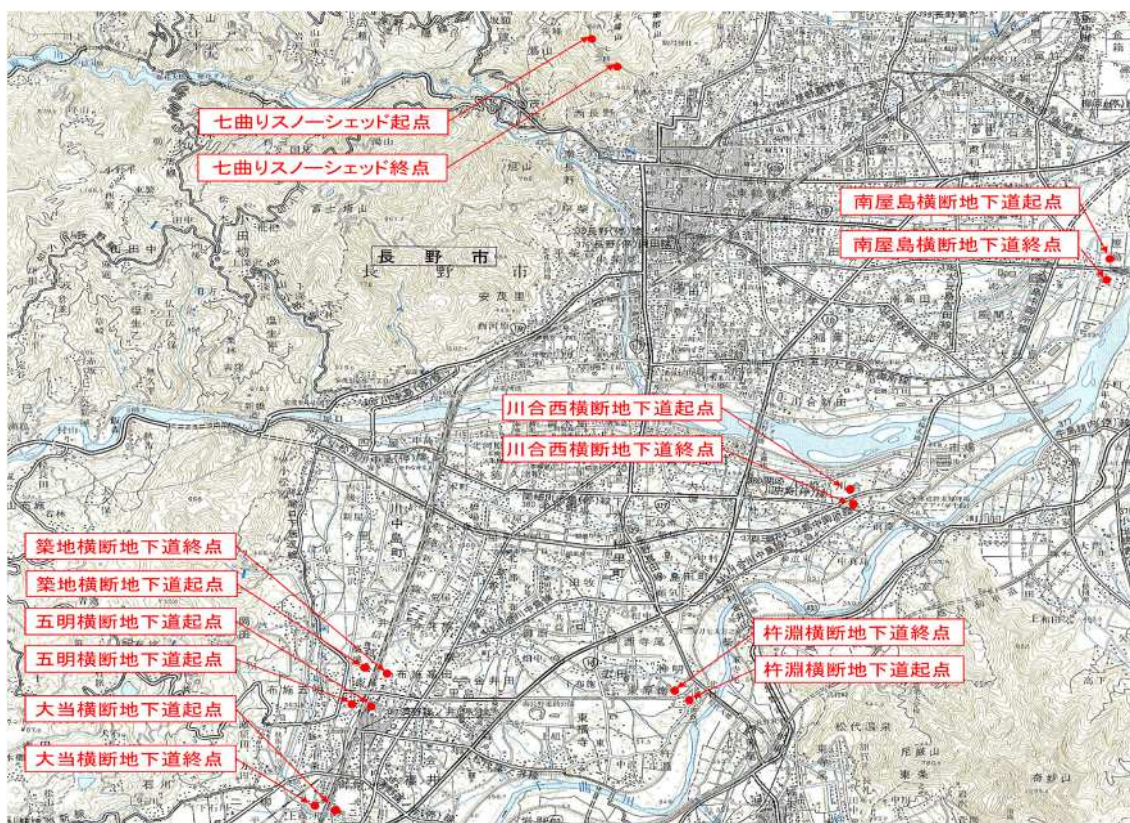
○大型カルバート



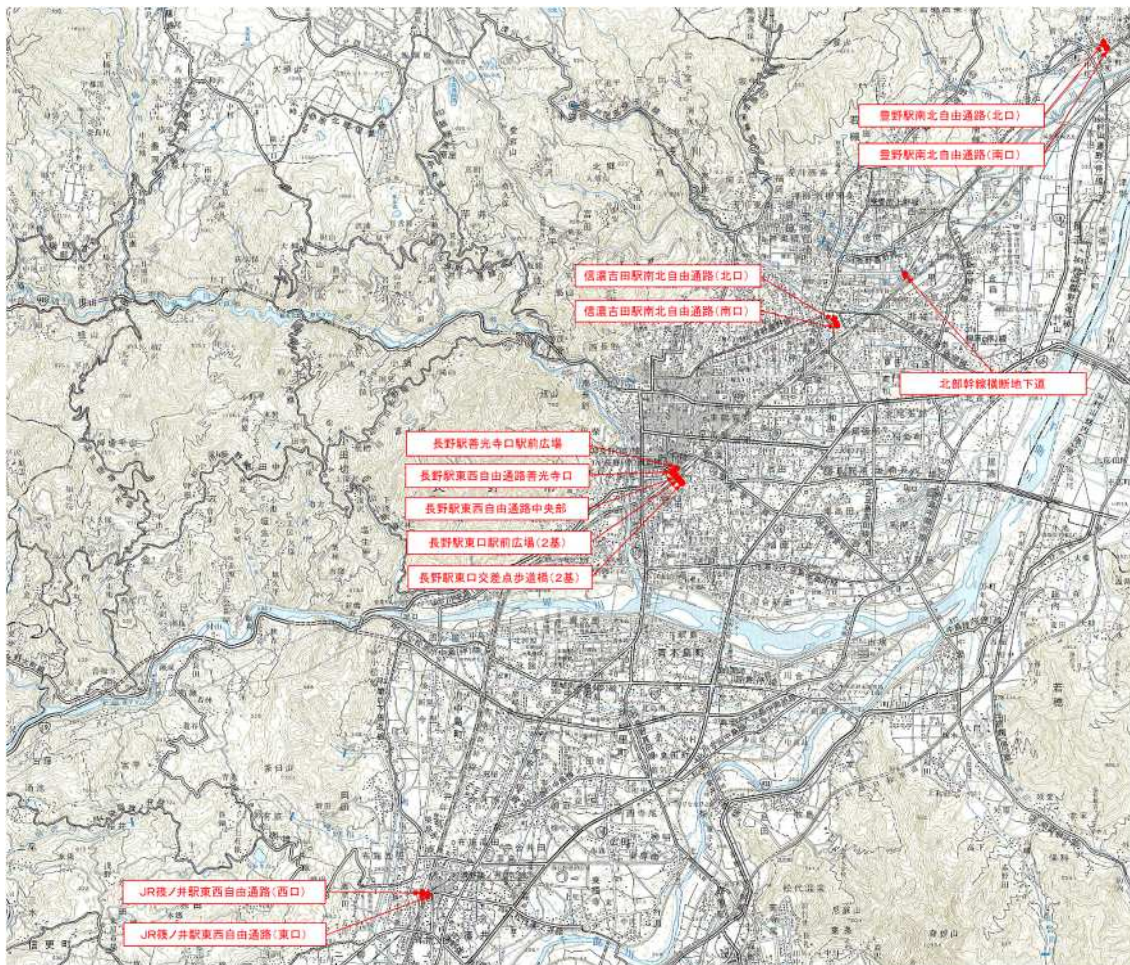
○シェッド



○門型標識



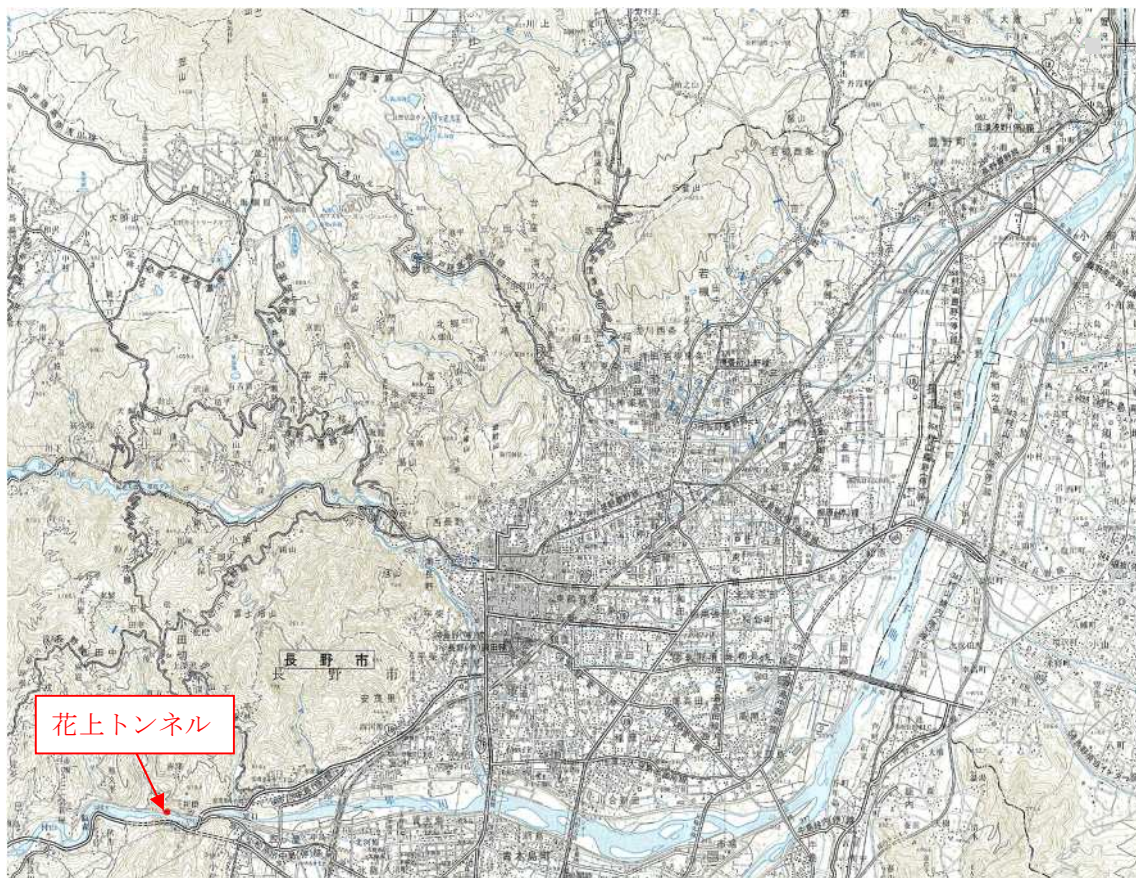
○自動昇降機（エレベーター）



○自動昇降機（エスカレーター）



○トンネル

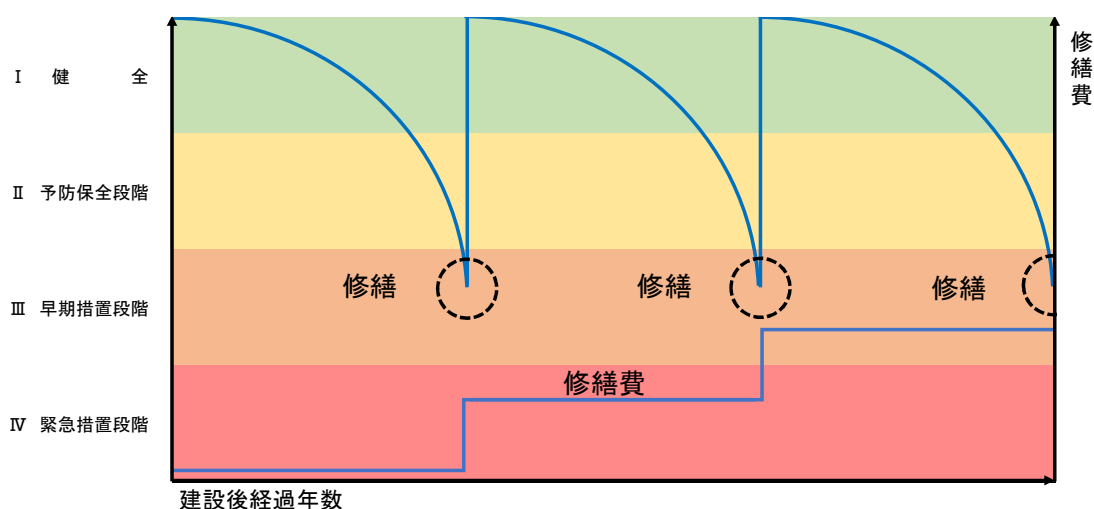


4 計画の基本方針

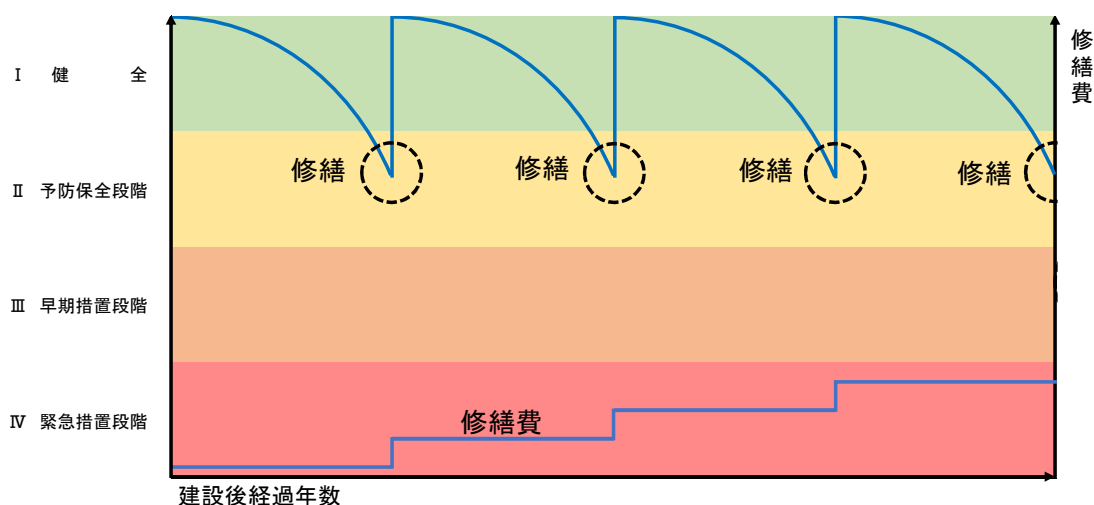
人の病気は、一般的に軽い症状の段階であれば、簡単な手当てで治りますが、重い症状になると、手術など高額で難しい治療が必要になり、完治する可能性も低くなります。そのため、皆さんは人間ドックなどの定期健診で病気の早期発見に努めます。

道路付属物についても長寿命化（長生き）させるためには、人の病気と同じように考えることが大切です。そのため本計画では、従来までの損傷が著しくなってから修繕を行う「対症療法型の維持管理」から、損傷が軽微な段階で補修を行う「予防保全型の維持管理」へ転換することで、長寿命化とトータルの維持管理コストの削減を図ります。

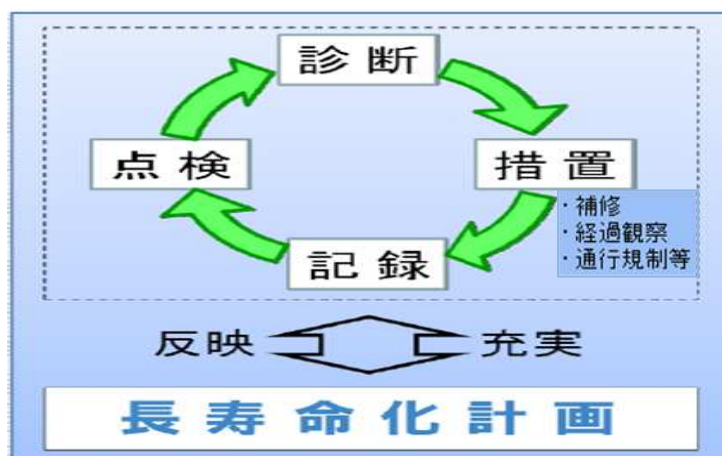
○対症療法型の維持管理



○予防保全型の維持管理



「予防保全型の維持管理」は、5年に1回実施される定期点検とその結果に基づく評価診断を踏まえて修繕計画の策定または見直しを行います。次に、策定した修繕計画に基づき修繕工事を実施し、事後評価を行って次回の点検に反映させるといった一連のサイクルを継続的に行っていく維持管理方法です。



5 道路付属物点検の基本方針

平成24年12月の笹子トンネル天井板落下事故を受けて、社会インフラの老朽化や点検の重要性が注目されるようになり、平成26年5月に道路法の改正により点検基準が法定化され、平成26年6月には「横断歩道橋定期点検要領」「シェッド・大型カルバート等定期点検要領」「門型標識等定期点検要領」「道路トンネル定期点検要領」（すべて国土交通省）が作成されました。そして、同年7月に改正道路法施行規則が施行され、すべての道路付属物に5年に1度の「近接目視点検」を実施することが義務化されました。

長野市においてもすべての道路付属物を対象とし、各定期点検要領に基づき、5年に1度の近接目視点検を実施し、道路付属物毎の健全性の診断を行いました。

健全性の診断区分

健全性の区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性がある、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

○横断歩道橋

No.	施設名称	延長 (m)	幅員 (m)	点検年月 日	建設 年次	点検結果の判定区分						全体の判定区分に 対する所見	損傷箇所/ 変状の種類	補修補強工法	
						健全性の判定	部材単位の診断								
							上部構造			構下 造部	階段 部				その 他
							主桁	横桁	床版等						
1	七瀬中町横断歩道橋	18.8m	1.5m	2023/3/2	1969	II	II	I	II	II	II	II	<p>全体的に塗膜の白垂化、一部に塗膜剥離・腐食が見られる(前回の塗替え塗装から9年経過)。予防保全の観点から、塗替え塗装工が望ましい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 経年劣化 乾燥収縮 人為的操作による破損 	<ul style="list-style-type: none"> 塗替え塗装工 ひび割れ注入工 排水管補修、流末処理
2	南部小学校前横断歩道橋	15.1m	1.5m	2023/3/3	不明	III	I	I	I	II	II	III	<p>階段部の高欄の縦桟が一部欠損している。第三者被害防止の観点から、転落防止対策が必要。排水管が腐食し、穴が開いているため、補修が望ましい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 経年劣化 乾燥収縮 施工時からの欠損 	<ul style="list-style-type: none"> 塗替え塗装工 ひび割れ注入工 転落防止対策
3	長野駅前横断歩道橋	28.3m	5m	2023/2/27、 2023/6/29、 2023/6/30	1997	II	I	II	II	I	II	II	<p>上部工と階段の接続部に漏水が見られ、階段部カバープレート内に漏水している。予防保全の観点から、橋面の止水対策を行うことが望ましい。階段部カバープレートの下面に水抜き孔を設置することが望ましい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 階段と上部工の接続部からの漏水 防水層の劣化・漏水 階段と上部工の接続部からの漏水 施工時のネジ破損、カバープレート内の漏水 	<ul style="list-style-type: none"> 塗替え塗装、橋面防水 橋面防水 ネジ設置、カバープレート水抜き孔設置
4	長野駅東口駅前広場横断歩道橋	94.6m	5m	2023/2/28	1998	II	I	I	II	I	II	II	<p>床版下面に漏水・遊離石灰が見られる。予防保全の観点から、橋面防水層の補修が望ましい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 防水層の劣化・漏水 防水層上の漏水 漏水・凍結融解 	<ul style="list-style-type: none"> 防水層補修 防水層補修(流末処理) 損傷部材取替、カバープレートビス設置
5	芹田小学校前横断歩道橋	71.6m	1.5m	2023/2/28	1980	III	I	I	I	II	III	III	<p>階段部蹴上げに、穴あきを伴う腐食が見られる。第三者被害防止の観点から、損傷が拡大する前に補修が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 経年劣化 	<ul style="list-style-type: none"> 塗替え塗装工 FRPシート貼付、塗替え塗装工 高欄補修、ブルボックス補修
6	三輪交番前横断歩道橋	18.5m	1.5m	2023/3/3	不明	II	I	I	I	II	II	I	<p>階段部踏み板の表面に剥離が見られる。第三者被害防止の観点から、補修が望ましい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 乾燥収縮 経年劣化 	<ul style="list-style-type: none"> ひび割れ注入工 踏み板補修、塗替え塗装工

No.	施設名称	延長 (m)	幅員 (m)	点検年月 日	建設 年次	点検結果の判定区分						全体の判定区分に 対する所見	損傷箇所/ 変状の種類	補修補強工法	
						健全性の判定	部材単位の診断								
							上部構造			構下 造部	階段 部				その他
							主桁	横桁	床版等						
7	吉田四丁目横断歩道橋	31.8m	2.5m	2023/3/10	2004	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	橋面タイル舗装に損傷が見られる。タイルの浮きにより排水側溝が機能しておらず、床版下面に漏水も見られる。橋面防水及び橋面舗装の補修が必要。	・橋面からの漏水 ・乾燥収縮 ・経年劣化	・塗替え塗装工 ・ひび割れ注入工 ・橋面防水工、舗装補修
8	今井新引横断歩道橋	19.5m	2.1m	2023/3/9	2006	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	主桁に軽微な腐食が見られる。予防保全の観点から、塗替え塗装工が望ましい。また、鳥の糞尿が鋼材腐食の原因となることから、鳥の糞の撤去が望ましい。	・経年劣化、車面の接触 ・鳥害、凍結融解 ・カバー紛失	・塗替え塗装工 ・鳥の糞撤去、ひび割れ経過観察 ・カバー取付け
9	芹田小学校西横断歩道橋	26.2m	1.5m	2023/3/2	2009	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	損傷は軽微。補修の必要性はないと判断する。		
10	長野駅東口横断歩道橋	54.5m	3.7m	2023/3/1	2000	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	エレベーターホールとの接続部の床版下面に、漏水・遊離石灰が見られる。予防保全の観点から、橋面防水層の補修が望ましい。	・防水層の劣化・漏水 ・防水層上の滞水 ・維持管理	・防水層補修 ・防水層補修(流末処理) ・土砂撤去、照明取替

○大型カルバート

No.	施設名称	延長 (m)	幅員 (m)	点検 年月日	建設 年次	点検結果の判定区分					全体の判定区分に 対する所見	損傷箇所/ 変状の種類	対策内容	補修補強工法
						健全性の判定	部材単位の診断							
							カルバート本 体	継手	ウイング	その他				
1	小市 横断地下道	19.5m	7m	#####	1988	Ⅱ	Ⅱ	—	—	Ⅱ	頂版、側壁のひびわれは、予防保全の観点から補修が望まれる。排水溝の蓋及び路面の段差は交通安全確保の観点から、維持工事による処置が望まれる。	【カルバート本体】 ・車道 頂版、側壁 ひびわれ 【路上】 ・路上 路面の凹凸 【その他】 ・排水工 異常な音・振動、土砂詰まり	本体 「ひびわれ補修工」 路上 「部分補修工」 排水工 「蓋の取替、清掃」	・ひび割れ注入工
2	四ツ谷 横断地下道	42.3m	6m	#####	1998	Ⅱ	Ⅱ	—	—	Ⅱ	頂版、側壁のひびわれは、予防保全の観点から補修が望まれる。照明器具は交通安全確保の観点から維持工事による処置が望まれる。	【カルバート本体】 ・車道頂版、側壁 ひびわれ 【その他】 ・照明装置 その他(未灯火)	本体 「ひびわれ補修工」 その他 「照明更新」	・ひび割れ注入工

No.	施設名称	延長 (m)	幅員 (m)	点検 年月日	建設 年次	点検結果の判定区分				全体の判定区分に 対する所見	損傷箇所 /変状の種類	対策内容	補修補強工法	
						健全性の判定	部材単位の診断							
							カルバート本 体	継手	ウイング					その他
3	今井田牧線 横断地下道	38.2m	12m	2022 12/20(車) 12/26(歩)	1996	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	—	Ⅱ	2ブロック(共和小学校側)の 外面に接する側壁(歩道部 外側)においてひびわれから 遊離石灰が生じている。範 囲が多く進行が見られるの で、安全性の観点から補修 が望まれる。また、2ブロック 起点側の坑口部の漏水が著 しいため対策が望まれる。	【カルバート本体】 ・車道 頂版 ひびわれ、漏水・遊離石灰Ⅲ 【写真番号17.18.33】 ・車道 側壁 漏水・遊離石灰、ひびわれ、剥 離・ 鉄筋露出 ・歩道 頂版 ひびわれ、漏水・遊離石灰 ・歩道 側壁 ひびわれ、漏水・遊離石灰 【継手】 ・歩道 側壁 目地部劣化 【路上】 ・路上 路面の凹凸 その他 ・付属物 照明装置 欠損	本体 「ひびわれ補 修工」 継手 「目地材充填 工」 「部分補修」 その他 「カバーの交 換」	・ひび割れ注入工
4	辰巳隧道	188m	11.1m	2022 12/22(車) 12/27(歩)	2000	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	—	Ⅱ	前回Ⅲ判定の頂版10~12 のひびわれは補修済みであ る。車道頂版ハンチ部及び 側壁を中心に幅0.5mm以上 のひびわれが生じているが、 間隔が大きいので経過観察 とする。	【カルバート本体】 ・車道 頂版 ひびわれ、漏水・遊離石灰 ・車道 側壁 ひびわれ、漏水・遊離石灰 【継手】 ・車道 遊間部 その他(目地材劣化)、漏 水・漏水 【その他 付属物】 ・車道非常電話 欠損 ・車道排水工 漏水・漏水	本体 「ひびわれ補 修工」 継手 「目地材充填 工、導水樋設 置工」 非常電話 「照明カバー 交換」 車道排水工 「導水樋の分 解・清掃」	・ひび割れ注入工
5	山王栗田横断地下道	92m	21.9m	2022 12/19(車) 12/26(歩)	1997	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	—	Ⅰ	車道部の頂版、側壁のひび われは予防保全の観点から 補修が望まれる。 また、車道部頂版の補修コ ンクリートにうきが生じてい る可能性がある。さらに遊離石 灰も生じている。早急な詳細 な調査が望まれる。	【カルバート本体】 ・車道 頂版 起点側坑口部 ひびわれ ・車道 頂版 ひびわれ、漏水・遊離石 灰、 補修・補修材の変状(うき)S1:Ⅱ 【写真番号-14】 ・車道 側壁 ひびわれ、漏水・遊離石灰、うき 【継手】 ・車道 頂版 遊間部 漏水・遊離石灰、漏水・漏水 ・車道 側壁 遊間部 漏水・遊離石灰 ・歩道 側壁 遊間部 漏水・遊離石灰、漏水・漏水	本体 「ひびわれ補 修工、断面修 復工」 継手 「目地材充填 工、導水樋設 置工」	・剥離除去、断面修復
6	駅南幹線横断地下道	170m	11.4m	2022 12/15(車) 12/26(歩)	1997	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	—	Ⅱ	北側車道・歩道は令和2年2 月供用開始であるが、完成 は南側と同じである。頂版及 び側壁のひびわれは、予防 保全の観点から補修が望ま れる。 北側車道右側壁の遊間部 の導水樋経路で大量の遊離 石灰の析出が見られるため 詳細な調査が必要である。	【カルバート本体】 ・車道 頂版 ひびわれ、漏水・遊離石 灰、 うき S1:Ⅱ【写真番号-18】 ・車道 側壁 ひびわれ、漏水・遊離石灰 S1: Ⅱ 【写真番号-31】 ・歩道 側壁 ひびわれ 【継手】 ・車道 頂版 遊間部 漏水・遊離石灰、漏水・漏水 ・車道 側壁 遊間部 漏水・遊離石灰、漏水・漏水、 吸出し S1:Ⅱ【写真番号-32】 【路上】 ・路上 路面の凹凸	本体 「ひびわれ補 修工」 継手 「目地材充填 工、導水樋設 置工」	・ひび割れ注入工
7	稲田工ノキ隧道	68.6m	15m	2022 12/23(車) 12/27(歩)	2004	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	—	Ⅰ	頂版及び側壁のひびわれが 一部進行している。予防保 全の観点から補修が望まれ る。また、頂版遊間部の目地 から漏水がありつらら水が生 じている。第三者被害が懸 念されるため早急な対応を 要する。	【カルバート本体】 ・車道 頂版 ひびわれ 漏水・遊離石灰 ・車道 側壁 ひびわれ 歩道 側壁 ひびわれ 【継手】 ・車道 頂版、側壁 遊間部 漏水・遊離石灰、漏水・漏水Ⅲ 【写真番号10】 ・歩道 側壁 遊間部 漏水・遊離石灰、漏水・漏水、 吸出し	本体 「ひびわれ補 修工」 継手 「目地材充填 工、導水樋設 置工」	・剥離除去、断面修復
8	原町隧道	20m	14.3m	2022 12/7(車) 12/27(歩)	2004	Ⅱ	Ⅱ	—	—	Ⅰ	頂版及び側壁のひびわれ、 遊離石灰については、経過 観察とする。運動公園側の 頂版と側壁の接合部につい ては、経過観察とするが、漏 水対策工の検討が望まれ る。	【カルバート本体】 ・車道 頂版 ひびわれ、漏水・遊離石灰 ・車道 側壁 ひびわれ、漏水・遊離石 灰、漏水・漏水	本体 「ひびわれ補 修工」	・ひび割れ注入工
9	北部幹線隧道	49.5m	15.0m	2022 12/7(車) 10/25(歩)	2021	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	—	Ⅱ	頂版及び側壁には、乾燥収 縮によると推定されるひびわ れがあり、一部遊離石灰も 生じているためⅡと判定し た。また、車道頂版にコーラ ドポイントが認められるため 詳細な調査により判断す ることが望まれる。	【カルバート本体】 ・車道 頂版 ひびわれS1:Ⅱ【写真番号- 12】 ・車道 側壁 ひびわれ、漏水・遊離石灰 ・歩道 頂版 ひびわれ ひびわれ ・歩道 側壁 漏水・漏水、漏水・遊離石灰 【その他】 ・防護柵 ひびわれ、漏水・遊離石灰	本体 「ひびわれ補 修工」 防護柵 「ひびわれ補 修工」	・ひび割れ注入工

○シエツド

No.	施設名称	延長 (m)	幅員 (m)	点検 年月日	建設 年次	点検結果の判定区分								全体の判定区分に 対する所見	損傷箇所/ 変状の種類	補修補強工法	
						健全性の判定	部材単位の診断										
							上部構造				下部構造		支 承 部				そ 他
							主梁	横梁	頂版	壁・柱	受台	谷側 基礎					
1	七曲リ スノーシェッド	142.2m	6.5m	2023/11/15	1985	III	II	II	II	III	II	-	III	III	防護柵の支柱基部一部に、腐食や著しく進行して断面欠損が確認できる。長年にわたって凍結防止剤の影響や土砂や雨水が大きく影響している。 衝突時の安全性が懸念されるため速やかに補修を行う必要がある。	主桁:その他(倒木)、変形・欠損 横梁:変形・欠損、その他(倒木) 頂版:その他(倒木)、変形・欠損 その他(単管外れ)、変形・欠損 壁・柱:破断 受台:ひびわれ 支承部:支承部の機能障害、ゆるみ・脱落 その他:腐食、破断	防護柵補強工 塗装塗替工 プレース材取替工 屋根材補修工
2	致久保 スノーシェッド	39.4m	4.8m	2023/9/13	1990	II	I	II	I	II	II	-	II	I	山側の支承部管座モルタルに変形・欠損とその原因により、主梁の一部が傾斜しているが、構造物の機能に支障は生じていないため判定をIIとする。 今後、経過観察は必要である。	主桁:変形 壁・柱:腐食 受台:ひびわれ 支承部:支承部の機能障害、変形	変形修復工 塗装塗替工 ひび割れ補修工 支承補修工
3	沢尻 スノーシェッド	29.3m	5.0m	2023/9/14	1990	II	I	I	I	II	II	-	II	II	プレース材、柱基部の一部に防食機能の劣化から腐食に進行している。また、受台ひびわれが全体に確認できる。判定はIIとする。	壁・柱:腐食 受台:ひびわれ、漏水、遊離石灰 支承部:機能障害、変形 その他:植生繁殖	塗装塗替工 ひび割れ補修工 支承補修工 伐採工
4	灰原 スノーシェッド	80.0m	4.0m	2023/10/18	1993	II	II	I	I	I	II	-	II	II	下部構造の受台に鉄筋露出、コンクリートの欠損や頂版の一部に変形が確認できるが、損傷に大きな進行が確認できない。判定はIIとする。	頂版:変形・欠損 受台:鉄筋露出、欠損 支承部:機能障害、欠損 その他:路面の凹凸	変更修復工 断面修復工 ひびわれ注入工 支承補修工 路面整土工

○門型標識

No.	施設名称	幅員 (m)	点検 年月日	建設 年次	点検結果の判定区分					全体の判定区分に 対する所見	損傷箇所/ 変状の種類	補修補強工法	
					健全性の判定	部材単位の診断							
						支柱	横梁	標識板	基礎				その他
1	南屋島横断地下道起点	7.0m	2019/11/12	不明	II	I	I	II	I	—	標識板が衝突等により変形している	横梁:ゆるみ・脱落 頂版:破断、その他 柱:腐食、破断、変形・欠損 支承部:腐食、ゆるみ・脱落 防護柵:腐食	不要
2	南屋島横断地下道終点	7.0m	2019/11/12	不明	I	I	I	I	I	—	構造物の安全性に問題なし	横梁:ゆるみ・脱落 頂版:破断、その他 柱:腐食、破断、変形・欠損 支承部:腐食、ゆるみ・脱落 防護柵:腐食	不要
3	築地横断地下道起点	6.0m	2019/11/15	不明	II	I	I	II	I	—	標識板が衝突等により変形している	横梁:ゆるみ・脱落 頂版:破断、その他 柱:腐食、破断、変形・欠損 支承部:腐食、ゆるみ・脱落 防護柵:腐食	不要
4	築地横断地下道終点	6.0m	2019/11/15	不明	II	I	I	II	I	—	標識板が衝突等により変形している	横梁:ゆるみ・脱落 頂版:破断、その他 柱:腐食、破断、変形・欠損 支承部:腐食、ゆるみ・脱落 防護柵:腐食	不要
5	五明横断地下道起点	6.0m	2019/11/14	不明	II	I	I	II	I	—	標識板取付部が腐食している	横梁:ゆるみ・脱落 頂版:破断、その他 柱:腐食、破断、変形・欠損 支承部:腐食、ゆるみ・脱落 防護柵:腐食	不要
6	五明横断地下道終点	6.0m	2019/11/14	不明	II	I	II	II	I	—	高さ制限のプレートが衝突等により変形している。広範囲に発錆。	横梁:ゆるみ・脱落 頂版:破断、その他 柱:腐食、破断、変形・欠損 支承部:腐食、ゆるみ・脱落 防護柵:腐食	不要

No.	施設名称	幅員 (m)	点検 年月日	建設 年次	点検結果の判定区分					全体の判定区分に 対する所見	損傷箇所/ 変状の種類	補修補強工法	
					健全性の判定	部材単位の診断							
						支柱	横梁	標識 板	基礎				その他
7	大当横断地下道起点	5.0m	2019/11/15	不明	II	I	I	II	I	—	構架の吊り下げ部分に腐食 が発生している	横梁:ゆるみ・脱落 頂版:破断、その他 柱:腐食、破断、変形・欠損 支承部:腐食、ゆるみ・脱落 防護柵:腐食	不要
8	大当横断地下道終点	5.0m	2019/11/15	不明	I	I	I	I	I	—	構造物の安全性に問題なし	横梁:ゆるみ・脱落 頂版:破断、その他 柱:腐食、破断、変形・欠損 支承部:腐食、ゆるみ・脱落 防護柵:腐食	不要
9	杵淵横断地下道起点	5.0m	2019/11/14	不明	I	I	I	I	I	—	構造物の安全性に問題なし	横梁:ゆるみ・脱落 頂版:破断、その他 柱:腐食、破断、変形・欠損 支承部:腐食、ゆるみ・脱落 防護柵:腐食	不要
10	杵淵横断地下道終点	5.0m	2019/11/14	不明	I	I	I	I	I	—	構造物の安全性に問題なし	横梁:ゆるみ・脱落 頂版:破断、その他 柱:腐食、破断、変形・欠損 支承部:腐食、ゆるみ・脱落 防護柵:腐食	不要
11	川合西横断地下道起点	5.0m	2019/11/12	不明	II	II	II	II	I	I	鋼材部の広範囲に錆が発生 している	横梁:ゆるみ・脱落 頂版:破断、その他 柱:腐食、破断、変形・欠損 支承部:腐食、ゆるみ・脱落 防護柵:腐食	不要
12	川合西横断地下道終点	5.0m	2019/11/12	不明	II	II	II	II	I	—	鋼材部の広範囲に錆が発生 している	横梁:ゆるみ・脱落 頂版:破断、その他 柱:腐食、破断、変形・欠損 支承部:腐食、ゆるみ・脱落 防護柵:腐食	不要
13	七曲リスノージェット起点	6.3m	2019/11/12	2018	I	I	I	I	I	I	構造物の安全性に問題なし	横梁:ゆるみ・脱落 頂版:破断、その他 柱:腐食、破断、変形・欠損 支承部:腐食、ゆるみ・脱落 防護柵:腐食	不要
14	七曲リスノージェット終点	6.3m	2019/11/12	不明	I	I	I	I	I	I	構造物の安全性に問題なし	横梁:ゆるみ・脱落 頂版:破断、その他 柱:腐食、破断、変形・欠損 支承部:腐食、ゆるみ・脱落 防護柵:腐食	不要

○エレベーター

No.	施設名称	延長 (m)	幅員 (m)	点検 年月	建設 年次	点検結果の判定区分 (健全性の判定)	全体の判定区分に 対する所見	損傷箇所 /変状の種類
1	長野駅善光寺口駅前広場	-	-	2021/3/15	2014	I	特になし	異常なし
2	長野駅東西自由通路善光寺口	-	-	2021/3/15	2014	I	特になし	異常なし
3	長野駅東西自由通路中央部	-	-	2021/3/15	1997	II	各階乗場ドアに変形があり、経過観察中である。また、耐用年数を超過していることから更新することが望ましい。	・各階乗場ドアに変形あり ・かご内防犯カメラの紛失
4	長野駅東口駅前広場 (1号機)	-	-	2021/3/15	2014	I	特になし	異常なし
5	長野駅東口駅前広場 (3号機)	-	-	2021/3/15	1997	II	かご内タイルが陥没している。利用者が踏き怪我をする危険性があるため、修繕が必要と思われる。また、ピット内に水溜りが発生するため排水が必要である。	・かご内タイルに陥没あり ・ピット内に水溜りあり
6	長野駅東口交差点歩道橋 (1号機)	-	-	2021/3/15	1999	I	制御盤内ヒューズの交換を実施したが、異常はなし。	異常なし
7	長野駅東口交差点歩道橋 (2号機)	-	-	2021/3/15	1999	I	制御盤内ヒューズの交換を実施したが、異常はなし。	異常なし
8	JR篠ノ井駅東西自由通路(東口)	-	-	2021/3/15	1995	III	油圧ユニット内部品の劣化により沈下量が増大しており、停止・故障の危険がある。(グランド部パッキン(作動油含む)の交換が必要。)また、エレベーター長期使用及び耐用年数の超過により交換部品が多数あることから、エレベーター本体の更新が必要と思われる。	修理・交換を要する部品 ・受電盤・制御盤・信号盤 ・油圧機器 ・外部への連絡装置 ・かご内装・照明・停電灯・ファン ・ドア開閉装置・安全装置 ・プランジャー・シリンダー
9	JR篠ノ井駅東西自由通路(西口)	-	-	2021/3/15	1997	III	油圧ユニット内部品の劣化により沈下量が増大しており、停止・故障の危険がある。(グランド部パッキン(作動油含む)の交換が必要。)また、エレベーター長期使用及び耐用年数の超過により交換部品が多数あることから、エレベーター本体の更新が必要と思われる。	修理・交換を要する部品 ・受電盤・制御盤・信号盤 ・油圧機器 ・外部への連絡装置 ・かご内装・照明・停電灯・ファン ・プランジャー・シリンダー

No.	施設名称	延長 (m)	幅員 (m)	点検 年月	建設 年次	点検結果の判定区分 (健全性の判定)	全体の判定区分に 対する所見	損傷箇所 /変状の種類
10	信濃吉田駅南北自由通路 (南口)	-	-	2021/3/15	1997	Ⅱ	ピット内に浸水があるため、 防水工事が必要と思われる。 また、制御盤内ヒューズ、 停電時自動着床装置用 バッテリーの交換を実施した が、大きな異常はなし。	ピット内に浸水あり
11	信濃吉田駅南北自由通路 (北口)	-	-	2021/3/15	1997	Ⅰ	制御盤内ヒューズ、停電時 自動着床装置用バッテリー の交換を実施したが、大きな 異常はなし。	異常なし
12	豊野駅南北自由通路(北 口)	-	-	2021/3/15	2000	Ⅰ	特になし	異常なし
13	豊野駅南北自由通路(南 口)	-	-	2021/3/15	2000	Ⅰ	特になし	異常なし
14	北部幹線横断地下道	-	-	2021/3/15	2019	Ⅰ	特になし	異常なし

○エスカレーター

No.	施設名称	延長 (m)	幅員 (m)	点検 年月	建設 年次	点検結果の判定区分 (健全性の判定)	全体の判定区分に 対する所見	損傷箇所 /変状の種類
1	長野駅善光寺口駅前広場 (1号機)	-	-	2021/3/15	2014	I	移動手すりの清掃を実施したが、異常なし。	異常なし
2	長野駅善光寺口駅前広場 (2号機)	-	-	2021/3/15	2014	I	移動手すりの清掃を実施したが、異常なし。	異常なし
3	長野駅東西自由通路善光 寺口(1号機)	-	-	2021/3/15	2014	I	特になし	異常なし
4	長野駅東西自由通路善光 寺口(2号機)	-	-	2021/3/15	2014	I	特になし	異常なし
5	長野駅東西自由通路善光 寺口(3号機)	-	-	2021/3/15	2014	I	整備実施→移動手すり通り 芯調整済み。	異常なし
6	長野駅東西自由通路善光 寺口(4号機)	-	-	2021/3/15	2014	I	整備実施→移動手すり通り 芯調整済み。	異常なし
7	長野駅東西自由通路中央 部(1号機)	-	-	2021/3/15	2012	II	手すりベルト表面の汚れ防 止のため、手すりベルトコー キング処理を行うことが望ま しい。	異常なし
8	長野駅東西自由通路中央 部(2号機)	-	-	2021/3/15	2012	II	手すりベルト表面の汚れ防 止のため、手すりベルトコー キング処理を行うことが望ま しい。	異常なし
9	長野駅東口駅前広場(1 号機)	-	-	2021/3/15	1997	II	曲損、破損している踏み段 があり、利用者の安全を確 保するため踏み段の交換が 望ましい。	曲損、破損している踏み段 あり
10	長野駅東口駅前広場(2 号機)	-	-	2021/3/15	1997	II	曲損、破損している踏み段 があり、利用者の安全を確 保するため踏み段の交換が 望ましい。	曲損、破損している踏み段 あり
11	長野駅東口駅前広場(3 号機)	-	-	2021/3/15	1997	II	曲損、破損している踏み段 があり、利用者の安全を確 保するため踏み段の交換が 望ましい。	曲損、破損している踏み段 あり
12	長野駅東口駅前広場(4 号機)	-	-	2021/3/15	1997	II	曲損、破損している踏み段 があり、利用者の安全を確 保するため踏み段の交換が 望ましい。	曲損、破損している踏み段 あり

○トンネル

No.	施設名称	延長 (m)	幅員 (m)	点検 年月日	建設 年次	等級	点検結果の判定区分				全体の判定区分に 対する所見	損傷箇所 /変状の種類	対策内容	補修補強工法
							健全性の判定	トンネル本体内						
								材質 劣化	漏水	外力				
1	花上トンネル	302m	8.25m	2019/3/1	1984	D	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	将来的に、利用者に対して 影響が及ぶ可能性があるため、 監視を必要とする	ひびわれ、浮き、遊離石灰、 鉄筋露出、漏水跡	不要	不要

6 道路付属物長寿命化に関する基本方針

6.1 対象となる道路付属物の長寿命化に関する基本方針

長寿命化修繕計画に位置づける道路付属物は、次の観点から決定します。

- ① 健全度（対策区分の判定を含む）
各定期点検要領（H26～H31 国土交通省）の判定区分がⅡ～Ⅳの道路付属物
- ② 道路付属物の重要度・通行量

6.1-1 対策の優先度

長野市における対策優先度は『健全度』と『道路付属物の重要度』を総合的に勘案して、優先度を検討します。

6.2 修繕・作り替えに関する基本方針

基本的には、維持修繕を継続的に実施することにより、全体の修繕費が軽減されます。ただし、損傷が著しい道路付属物については、修繕によって長寿命化を図るのではなく作り替えも検討します。

6.3 今後の対策

令和6年度から令和10年度までの5ヶ年を計画期間とする本計画においては、定期点検の結果、健全性の判定がⅢ以上の道路付属物について集中的に修繕を行うことを最優先課題とし、順次予防保全型の維持管理へと移行していきます。

6.4 新技術の活用

点検、修繕の実施にあたっては、新技術情報提供システム（NETIS）や点検支援技術性能カタログ（案）、建設技術審査証明などを参考に、新技術の活用を検討し事業の効率化やコスト縮減を図ります。

具体的には、管理施設数（65施設）の1割程度で新技術を活用し、令和10年度までに百万円程度のコストの縮減を図ります。

6.5 集約化・撤去等の費用縮減に関する具体的な方針

- ・令和2年度に城山公園周辺整備事業及び交差点改良に合わせ「城山横断歩道橋」を撤去しています。
- ・現在、判定がⅣとなっている施設はありませんが、Ⅳとなった（なりそうな）時点または交通需要が極めて低く近隣に迂回路（代替路）等が存在し、地元合意が取れる等の付属物に対しては維持管理費用の軽減を目的に集約化・撤去を検討します。
- ・計画対象施設のうち、令和10年度までに2施設程度の撤去を検討し、10百万円程度

のコスト縮減を目指します。

- ・ 損傷状況や利用状況により、撤去が効果的である付属物は、健全性に大きな問題が生じた際に撤去・廃止を実施します。
- ・ 事情により撤去が困難である付属物については、機能を縮小することを検討します。

○横断歩道橋

施設名	判定	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	修繕内容
七瀬中町 横断歩道橋	Ⅱ				第3期定期点検		
南部小学校前 横断歩道橋	Ⅲ		設計 着手・完了	工事 着手・完了			転落防止 対策 他
長野駅前 横断歩道橋	Ⅱ						
長野駅東口駅前 横断歩道橋	Ⅱ						
芹田小学校前 横断歩道橋	Ⅲ		設計 着手・完了	工事 着手・完了			FRPシート 貼付、塗替 塗装工、高 欄補修 他
三輪交番前 横断歩道橋	Ⅱ						
吉田四丁目 横断歩道橋	Ⅲ		設計 着手・完了	工事 着手・完了			橋面防水 工、舗装補 修 他
今井新引 横断歩道橋	Ⅱ						
芹田小学校西 横断歩道橋	Ⅰ						
長野駅東口 横断歩道橋	Ⅱ						


○大型カルバート

施設名	判定	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	修繕内容
小市 横断地下道	Ⅱ				第3期定期点検		
四ツ屋 横断地下道	Ⅱ						
今井田牧線 横断地下道	Ⅲ	工事 着手・完了					ひび割れ 注入工
辰巳隧道	Ⅱ						
山王栗田 横断地下道	Ⅱ						
駅南幹線 横断地下道	Ⅱ						
稲田エノキ 隧道	Ⅲ		工事 着手・完了				剥離除去、 断面修復
原町隧道	Ⅱ						
北部幹線隧道	Ⅱ						

○シェッド

施設名	判定	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	修繕内容
七曲りスノー シェッド					第3期定期点検		
荻久保スノー シェッド							
沢尻スノー シェッド							
日名ロック シェッド		撤去 完了					撤去工
灰原スノー シェッド							

○門型標識

施設名	判定	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	修繕内容
南屋島横断 地下道起点	Ⅱ	 第3期定期点検					
南屋島横断 地下道終点	Ⅰ						
築地横断 地下道起点	Ⅱ						
築地横断 地下道終点	Ⅱ						
五明横断 地下道起点	Ⅱ						
五明横断 地下道終点	Ⅱ						
大当横断 地下道起点	Ⅱ						
大当横断 地下道終点	Ⅰ						
杵淵横断 地下道起点	Ⅰ						
杵淵横断 地下道終点	Ⅰ						
川合西横断 地下道起点	Ⅱ						
川合西横断 地下道終点	Ⅱ						
七曲りスノー シエツド起点	Ⅰ						
七曲りスノー シエツド終点	Ⅰ						

○自動昇降機（エレベーター）

施設名	判定	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	修繕内容
長野駅善光寺口駅前広場	Ⅰ	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
長野駅東西自由通路善光寺口	Ⅰ	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
長野駅東西自由通路中央部	Ⅱ	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
長野駅東口駅前広場（1号機）	Ⅰ	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
長野駅東口駅前広場（3号機）	Ⅱ	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
長野駅東口交差点歩道橋（1号機）	Ⅰ	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
長野駅東口交差点歩道橋（2号機）	Ⅰ	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
JR篠ノ井駅東西自由通路（東口）	Ⅲ	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
JR篠ノ井駅東西自由通路（西口）	Ⅲ	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
信濃吉田駅南北自由通路（南口）	Ⅱ	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
信濃吉田駅南北自由通路（北口）	Ⅰ	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
豊野駅南北自由通路（北口）	Ⅰ	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
豊野駅南北自由通路（南口）	Ⅰ	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
北部幹線横断地下道	Ⅰ	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	

○自動昇降機（エスカレーター）

施設名	判定	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	修繕内容
長野駅善光寺口駅前広場（1号機）	I	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
長野駅善光寺口駅前広場（2号機）	I	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
長野駅東西自由通路善光寺口（1号機）	I	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
長野駅東西自由通路善光寺口（2号機）	I	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
長野駅東西自由通路善光寺口（3号機）	I	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
長野駅東西自由通路善光寺口（4号機）	I	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
長野駅東西自由通路中央部（1号機）	II	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
長野駅東西自由通路中央部（2号機）	II	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
長野駅東口駅前広場（1号機）	II	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
長野駅東口駅前広場（2号機）	II	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
長野駅東口駅前広場（3号機）	II	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	
長野駅東口駅前広場（4号機）	II	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	

○トンネル

施設名	判定	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	修繕内容
花上トンネル	II					第3期	
						定期点検	